2026年11月4日
株式会社ソラコム

RYODENが、ペストコントロールの遠隔監視を実現する「Pescle Lite」にSORACOMを採用

害虫・害獣対策における巡回・点検業務へのIoT/AI活用を支援、人手による巡回・点検業務の効率化を後押し

株式会社ソラコム（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：玉川 憲）は、株式会社RYODEN（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：富澤 克行）が2026年10月に販売を開始したAIを活用したトラップ遠隔監視システム「Pescle Lite（ペスクル ライト）」に、AI/IoT通信プラットフォームSORACOMが採用されたことを発表します。



<左：Pescle Liteのデバイス、右：設置例>

昨今、気候変動や法規制の改正などを背景に、定期的・計画的に害虫・害獣の駆除や予防を行うペストコントロールの重要性が高まっています。一方で、多数の装置を確認する作業には時間と人手がかかるため、業務の効率化が求められていました。

RYODENが提供するネズミ・害虫の遠隔監視ソリューション「Pescle®（ペスクル）」は、AI/IoT×センサーによる遠隔監視で、害獣・害虫の早期発見と原因分析を可能にし、衛生管理が必須の工場などにおけるペストコントロール業務の品質向上と省力化を支援します。総合的有害生

物管理（IPM）を支援するペストコントロール会社向けに、サブスクリプション型IoTサービスとして提供されています。

新製品の「Pescle Lite」は、ネズミ・害虫向けの箱罠や捕獲トラップなどに装着するIoT機器で、小型カメラとセルラー通信モジュールを内蔵しています。撮影した画像と独自開発の害獣・害虫検知AIアルゴリズムを組み合わせて捕獲装置の状態変化を検知し、ペストコントロール業務の遠隔監視を実現します。電源は乾電池で、従来の装置に追加するだけでIoT化でき、難しい設定作業は不要です。設置したその日から、状況に変化があった場所をWeb上で確認したり、通知を受け取ったりできます。定期的な人による巡回から、データに基づき必要な場所を優先して作業する運用に変えることで、移動や点検にかかる時間と手間の削減、防除品質の向上を支援します。

ネズミ・害虫の遠隔監視ソリューション「Pescle」
https://www.ryoden.co.jp/pescle

このPescle Liteのデバイス・カメラセンサーからクラウドへのデータ通信にSORACOMが採用されました。セルラー通信により、Wi-Fi環境が整っていない工場の敷地内や屋外などでも、ソリューションを手軽に導入可能です。

SORACOM採用の理由

Pescle LiteでSORACOMが採用された理由は、以下の3点です。

1つ目は、事業の拡大にあわせて必要な数のSORACOM IoT SIMを調達でき、ユーザーコンソールで回線を管理できる点です。ユーザーコンソールでは、SORACOM IoT SIMごとの通信の開始/休止（ステータスの変更）や接続状況を確認できます。さらに、SORACOMには、データ通信量などが設定した条件を満たした際に、メール通知やSIMの一時休止やスピード変更といったアクションを自動で実行する「イベントハンドラー」機能があります。

2つ目は、製造から在庫保管の期間中は通信料金がかからない「テストモード」を利用できる点です。Pescle LiteはRYODENが機器の製造時にIoT SIMのキッティングと疎通確認まで実施して在庫として保管し、注文時はお客様が電源を入れるだけですぐに使える状態で出荷しています。「テストモード」では、事前に設定した期間・通信量の範囲内であれば、製造時の疎通テストから在庫期間中の通信料金が免除され、通信料金は商用利用の開始タイミングから発生します。

3つ目は、1枚のSORACOM IoT SIMで国内外に対応できる点です。SORACOM IoT SIMは日本はもとより、グローバルで利用できます。将来、海外で利用する場合も、同じIoT SIMとシステムで対応できます。

各社からのコメント

「IoT製品にセルラー通信を組み込むうえでは、製造・出荷・運用の各段階において、通信を適切に管理することが重要です。SORACOMは、製造時の通信検証を追加コストなしで実施できる『テストモード』や、ユーザーコンソール、イベントハンドラーを活用した回線管理機能など、IoT製品を展開する事業者に必要な機能が充実しており、利用者の視点に立って設計された使いやすいサービスだと感じています。今後もPescleを通じて、IoTとAIの活用による業務の効率化と高度化を支援し、ペストコントロール業界のさらなる発展に貢献してまいります。」

株式会社RYODEN　新事業推進室　事業開発部 部長　甲斐 達也氏

「IoTやAIは、各業界の課題を深く理解する企業の専門性と組み合わさることで、現場に大きな価値を生み出します。RYODEN様の『Pescle』は、まさにその好例です。ペストコントロール業務の省力化と衛生管理の高度化につながる、この素晴らしい取り組みをご支援できることを嬉しく思います。
企業がそれぞれの強みを生かし、専門領域に集中することで、IoTやAIを活用した新たなソリューションをより迅速に生み出すことができます。ソラコムは、通信をはじめとするIoTプラットフォームの提供を通じて、こうした各業界のイノベーションを引き続き支援してまいります。」

株式会社ソラコム　上級執行役員　CEO of Japan　齋藤 洋徳

ソラコムについて

AI/IoT通信プラットフォームSORACOMは、世界200以上の国と地域でつながるIoT通信を軸に、IoTを活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業DXから、イノベーティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客様にご活用いただいています。
ソラコムコーポレートサイト　https://soracom.com

ソラコムのIRサイトでは、決算情報・IR資料など、株主・投資家様向け情報を掲載しています。
公式IRサイト・ニュースレター
・IRサイト
https://soracom.com/ja/ir
・IRニュースレター登録
https://soracom.com/ja/ir/newsletter
・ IRデータ（AI向け） 利用ガイド
https://soracom.com/ir-data/ai/ir_data_book_latest_README.md
・ IRデータ（AI向け） CSV
https://soracom.com/ir-data/ai/ir_data_book_latest.csv

関連レポート・公式SNS
・シェアードリサーチレポート
https://sharedresearch.jp/ja/companies/147A
・ソラコムIR公式note
https://note.com/soracom_ir
・ソラコムIR公式X
https://x.com/SORACOM_IR

本ニュースに関するお問い合わせ

株式会社ソラコム　広報
担当：田渕
pr@soracom.jp

※Pescle®は、株式会社RYODENの登録商標です。